

大手の特許技術、町工場に

市などが仲介 自社新製品を開発



開発した装置を動かす酒井高雄社長

検査機器の開発などを手がける「マイス」(川崎市高津区)が、必要な数だけ自動的に作業者にボルトを供給する装置を開発した。市などの仲介で、日産自動車の特許として出願中の技術を有償で使用

する契約を結んで活用した。金属製の箱の中に磁石を埋め込んだ回転プレートが入っていて、これが内部のボルトを持ち上げ、作業者に供給する。同じ生産ラインで違う車種を製造する場

合、作業者は車種ごとにボルトを数える必要がなくなり、効率化や締め忘れ防止につながるという。マイスは従業員3人。初の自社製品だ。酒井高雄社

長は「やはり自社製品がほしかった」と喜ぶ。4月に売り出し、自動車や建築機器メーカーなどに5年間で千台販売するのが目標という。(河井健)